

20歳になった方へ 子宮頸がん検診を受けてください



考えよう、未来の自分へ**いま**、できること。

子宮頸がん検診を受けましょう

Q 子宮頸がんってどんな病気？

A 子宮頸がんは、子宮の入り口付近にできるがんです。
20歳代から30歳代の若い女性に増えています！初期症状がほとんどなく、自分で気づきにくい病気です。

Q どうしてかかるの？

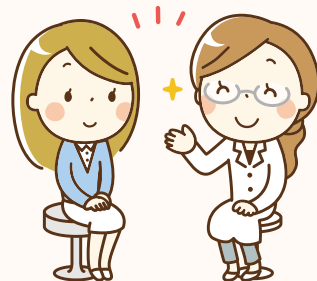
A HPV（ヒトパピローマウイルス）という性交渉で感染するウイルスが主な原因です。
性交渉の経験のある女性なら**誰でも感染**している可能性があります。

Q 予防や対策はあるの？

A HPVワクチンの接種で**ウイルスの感染を予防**することが重要です。ただし、HPVワクチンで防げないタイプのウイルスもありますので、**定期的に子宮頸がん検診を受けましょう**。検診で早期に発見すれば、比較的治療しやすく予後の良いがんですが、進行すると治療が難しいことから、**早期発見が極めて重要です**。

Q 子宮頸がん検診ってどんなことをするの？

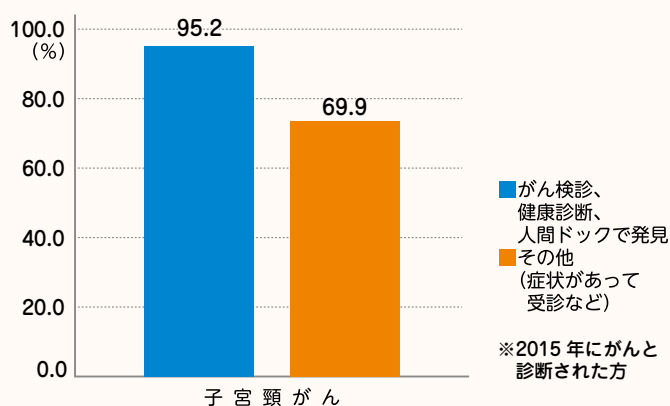
- 対 象：20 歳以上（年 1 回）
- 問 診：初経年齢、月経の状況、自覚症状などを確認
- 診 察：医師が子宮の大きさや形、表面の状態などを診察
- 細胞診：医師が専用ブラシを用いて子宮頸部の細胞をこすって採取します。痛みはほとんどありません。
- 結 果：採取した細胞の形などを専門の技師と医師が顕微鏡で調べます。



※検診の結果「要精密検査」と判定された場合は、必ず精密検査を受けましょう。

早期発見・早期治療により生存率は高まります

●子宮頸がんと診断されてから5年後の生存率(%)



出典：「茨城県がん登録事業報告 2020 年集計」

たとえ検診でがんが見つかったも、
早期発見・早期治療を行うことで、
5年生存率が大きく高まります。



詳しい検診の日程や、申込み受付については、
お住まいの市町村保健センターへお問い合わせ下さい。

市町村保健センターの一覧は、
「がん検診担当窓口 茨城」で検索
または **右記 QR コード**をご利用ください。

